

長野県社保協ニュース <21-3>

2016年3月28日(月) 長野県社会保障推進協議会

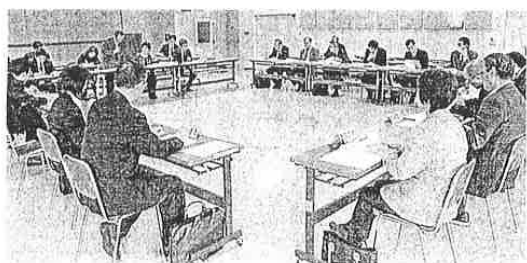
<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www.n-syaho.com>

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

3/25 第2回地域医療構想策定委員会開催 「回っている現状を壊してまでやる必要があるのか」「このままでは危険だ！」等厳しい意見続出!

2月に入って開催された各地域の調整会議を受け、3月25日第2回地域医療構想策定委員会が開催されました。会議では、県側から「病床機能に関する病院・有床診療所の取組状況」、



↑3/3 木曾地域医療調整会議(市民タイムスより)

大問題になっている療養病床の削減計画の関連して、「国の検討会報告」「県内の療養病床入院患者の調査結果」「県内の療養病床の状況」報告がされたあと、この間開催された「地域医療構想調整会議」の状況報告がされました。また、「必要病床数推計値の都道府県調整」「構想区域間の患者流出入の調整の考え方」などについて報告されました。参考資料として県が実施したH27年度病床機能報告(速報値)、在宅医療提供体制調査結

果の概要、県民の在宅医療に関する意識調査の概要などが報告されました。

県側からの報告のあと、各委員からの意見表明がされ、いずれも厳しい意見が続出しました。「現状の体制で何とか回っているのに、それを崩してまでやる必要があるのか。追認で良いではないか(医師会長)」「しっかりしたデータをもとに議論するならともあれ、このままでのやり方では、危険。診療報酬上の誘導策でやられるのでは?」「(相澤病院長)」「地域内の医師不足が病床稼働に影響を与えている。そのことを考慮して欲しい。木曾には住民組織があり、病床削減に厳しい意見がある」「(木曾病院院長)」「中小病院が苦戦している。これでは高度急性期病院としても困る。バランスの良いネットワークが必要」「(佐久病院統括院長)」「10年後在宅医療ができる開業医がどのくらいいるのか(宮坂医院)」「家族では看れない。何として欲しいとの意見が多い」「(南箕輪村長)」「貧困化進む中で、患者の経済的負担は大きい。在宅医療のあり方を考えてほしい」「(公募委員)など。

尚、関係資料は、県のホームページに掲載されています。アドレスは↓

<http://www.pref.nagano.lg.jp/iryokukenko/iryokukenko/shisaku/hokeniryokukenko/vision1kai.html>

県医団連主催の「県政出前講座」に参加しよう!

日時:平成28年4月19日(火)13時00分~14時30分

(説明1時間、質疑30分) (定員25名)

場所:松本市中央公民館(Mウイング)4階 4-1会議室

テーマ:「長野県の地域医療構想策定の進捗状況」

担当:医療推進課医療計画係課長補佐兼医療計画係長:下條伸彦氏